

中高一貫教育だより

第 2 号

平成 26 年
12月16日発行
文責 益永



平成26年の年末です

暖冬と予想されていた今冬ですが、寒さも厳しくなり、各地で大雪の被害があったと報道されています。私の前の勤務地（橋原）では20cmの積雪とのこと。暖かい清水では想像がつかないかもしれませんが、インフルエンザも例年に比べ流行が早まっています。予防に気をつけ、元気に新年を迎えたいものです。

さて、中高一貫教育事業ですが、土佐清水市からの補助金をいただくこととなり、その他の具体的な活動を実施する段階です。まず、高等学校で英語検定に関する検定料補助（半額補助）の事業を開始します。キャリア教育・英語教育の充実

とその基礎力の定着を目指し、そのキャリアを伸ばしていこうとする事業です。多くの生徒に活用していただきたいと考えています。中学校では来年度以降の実施を計画中です。また、中高接続の教材づくりも開始します。さらに、キャリア教育や防災教育に関する講演会も計画中です。課題を一つひとつ克服しながら事業を進めていきたいと考えています。



中高生弁論大会のお知らせ

12月18日（木）に、第2回中高生弁論大会を開催します。この弁論大会は、一昨年までは中学校のみで開催（40回実施）していましたが、昨年度から清水高校が加わりました。今年度は清水小学校の児童も聴講します。中学生や高校生の率直な

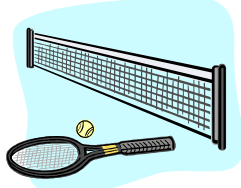
意見や想いに耳を傾けてみようと思えます。保護者の皆様もどうぞお越しください。

第2回 土佐清水市 中高生弁論大会

平成 26 年 12 月 18 日（木）
13:30～16:20
土佐清水市市民文化会館
中学生 6 名、高校生 6 名
が登壇します！

中学校だより

各部活動も新しいチームになり高い目標を掲げ練習を頑張っています。先月行われた、県冬季ソフトテニス大会では、男子が団体準優勝、個人は優勝しました。今月松山市で行われる、四国ソフトテニス大会へ出場することになりました。また、野球部も県選抜野球郡予選で推薦枠決定戦において大接戦の末勝利するなど、各種大会でも結果が残せるようになってきました。



生徒たちの頑張りが見られるようになりました。

高校だより

この時期になるとTVでマラソンや駅伝の中継が行われます。先日、清水高校でも校内マラソン大会が行われました。加久見川を上流に向かい折り返す、男子は10km、女子は6kmのコースでした。

「ひたすら走る」というシンプルな競技ですが、走りきろうという意思と適切なペース配分という緻密さを備えたスポーツです。それゆえに奥が深く、TVでも人気のスポーツです。

ゴールに帰ってきた生徒は息を切り、疲れた様子を見せていましたが、走りきったという表情が満足そうでした。マラソンも学校生活も一歩一歩の積み重ねに価値があると思えます。

その後には、幡多地域の高等学校対抗の駅伝大会が黒潮町であり、本校男女代表が参加しました。区間2位などの力走があり、男女とも昨年度より

成績を上げました。生徒たちの頑張りにより拍手を送りたいと思います。

